

BlackBoard システムを活用した初級総合日本語教育の 実践

USING BLACKBOARD SYSTEM IN TEACHING A JAPANESE FOUNDATION COURSE

梅田千砂子、立命館アジア太平洋大学

Umeda, Chisako , Ritsumeikan Asia Pacific University

本稿では、BlackBoard システムを取り入れた初級総合日本語教育の実践について報告し、問題点や学習者、教師からのフィードバックをもとに成果と課題について検討する。本学で導入されているオンライン上にコースを置く IT 教育向けの学習コース管理システム、BlackBoard を初級総合日本語教育に活用することによって、シラバスやスケジュールなど、クラス運営や管理をはじめ、言語学習のためのドリル形式の練習問題や動画、音声教材を提供するとともに、プレゼンテーションや会話音声をウェブ上に保存することによって、学習成果の自己評価や振り返りができるようになった。教師にとっても練習問題が自動的に採点されることによって、採点の負担が軽減され、学習者の学習履歴の蓄積は、学習過程の診断が容易になり、貴重なデータとなっている。

BlackBoard、ゼロ日本語学習者、学習コース管理システム、CALL、学習成果

1. はじめに

本学は毎年春と秋に留学生を受け入れ、全員に日本語初級、初中級を必修化している。各学期に多様な国から 200 人から 250 人の留学生を受け入れているが、ほとんどの留学生はゼロ日本語学習者で、英語で授業を受けながら同時に日本語を学んでいる。初級も初中級も 1 クラス 25 人を上限とし、多国籍の学生が混在している。初級レベルは、一学期間に 270 時間をかけて初級日本語の 85% を学ぶインテンシブなコースであるために、短期間に効率よく学び、文化背景の◆◆里舛◆◆劫覆鵠世◆蕪◆譴気鵠◆◆鬚任④覆◆禿◆魁◆◆錫鮪勉習者が◆◆里舛◆◆ ◆鬚任④覆◆禿◆魁◆◆錫鮪勉自分のペースで学習が進められるような教育活動を支援するシステムの導入が必要である。

2. 初級総合日本語教育

表 1 2012 年春学期のコース

学習者数	198人 (27か国)
学習期間	15週間 週12コマ (1コマ95分)
教科書	『日本語5つのとびら-part1-』 『日本語5つのとびら-part2-』 ビデオ教材
担当教員	12人

3. 日本語教育への BlackBoard の活用

本学が日本語教育に BlackBoard を取り入れたのは初級レベルの学習者が学期末の能力試験を BlackBoard で作成し、受けさせたのが始まりであった。それ以降、各レベルや各コースで授業を補完するために、**里舛**、**劫覆鵠世**、**蔭**、**譚気鵠**、**鬚任**、**覆**、**禿**、**魁**、**錫鮪勉** 現在では初級レベルで各クラスがホームページを作成し、必要な資料やリンク先を保存し、カレンダーや課題、アセスメント、メール、ディスカッション等の機能が活かされている。

表2 初級クラスで作成しているホームページ



4. 学生、教師の反応と成果

学生のフィード**△帽圓**、**縦蠅**、**癩**、**里舛**、**劫覆鵠世**、**蔭**、**譚気鵠**、**鬚任**、**覆**、**禿**、**魁**、**錫鮪勉** 教師のフィードバック

5. おわりに

しかし、このようなシステムに不慣れな教師はコンテンツの作成に時間を要し負担に感じたり、学習成果として残す映像データの保存容量の制限や音量が不安定になることなどの問題もあり、FD活動やメディア関係の部署との連携などの必要性がうまれつつある。

石田三樹他, Blackboard Learning System を活用した授業時間外学習の促進,

情報処理学会研究報告, Vol.2009-CE-102 No.2, 1-5, 2009

エミットジャパン, WebCT:大学を変える e ラーニングコミュニティ, 2005

李 偉, e-Learning による外国語の展開 - BlackBoard Learning System による中国語教育

によ^①里^②舛^③鬚^④任^⑤覆^⑥禿^⑦魁^⑧錫^⑨鮑^⑩勉^⑪る事例を中心に